【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和1年11月21日(2019.11.21)

【公開番号】特開2018-71773(P2018-71773A)
【公開日】平成30年5月10日(2018.5.10)
【年通号数】公開・登録公報2018-017
【出願番号】特願2016-216678(P2016-216678)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ　25/22　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　25/20　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　33/372　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ　25/22　Ｇ
Ｆ１６Ｈ　25/22　Ｌ
Ｆ１６Ｈ　25/20　Ｋ
Ｆ１６Ｃ　33/372

【手続補正書】
【提出日】令和1年10月8日(2019.10.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の球体のそれぞれをお互いに隔て保持するための分離体であって、
上記複数の球体は、第１部材と該第１部材に対して相対移動をする第２部材とを備える運動ガイド装置において、該第１部材および該第２部材の両方に接するようにその一方に配設され、かつ各球体の転動により該相対移動を可能とするものであり、
上記分離体は、フッ化ビニリデンを主成分とするフッ素樹脂と、エラストマー成分とを含む樹脂組成物から形成されており、
上記エラストマー成分は上記フッ素樹脂に分散していることを特徴とする分離体。
【請求項２】
上記エラストマー成分は、上記フッ素樹脂と相溶性のある化合物と組み合わされたエラストマーであることを特徴とする請求項１に記載の分離体。
【請求項３】
上記フッ素樹脂と相溶性のある化合物と組み合わされたエラストマーは、コアーシェル構造を有するエラストマーであることを特徴とする請求項２に記載の分離体。
【請求項４】
上記フッ素樹脂と相溶性のある化合物は、フッ素樹脂またはアクリル樹脂であることを特徴とする請求項２または３に記載の分離体。
【請求項５】
上記樹脂組成物は、上記フッ素樹脂を１００質量部としたときに、上記エラストマー成分を１質量部以上含むことを特徴とする請求項２から４のいずれか１項に記載の分離体。
【請求項６】
上記エラストマー成分は、上記フッ素樹脂と相溶性のあるエラストマーであることを特徴とする請求項１に記載の分離体。
【請求項７】

上記フッ素樹脂と相溶性のあるエラストマーは、アクリル系エラストマーまたはフッ素系エラストマーであることを特徴とする請求項６に記載の分離体。
【請求項８】
上記樹脂組成物は、上記フッ素樹脂を１００質量部としたときに、上記エラストマー成分を５質量部以上含むことを特徴とする請求項６または７に記載の分離体。
【請求項９】
上記フッ素樹脂は、ポリフッ化ビニリデンであることを特徴とする請求項１から８のいずれか１項に記載の分離体。
【請求項１０】
請求項１から９のいずれか１項に記載の分離体と複数の球体とを備えており、
上記分離体は、上記複数の球体のそれぞれをお互いに隔て保持していることを特徴とする機械要素。
【請求項１１】
請求項１０に記載の機械要素である第１部材と、該第１部材に対して相対移動をする別の機械要素である第２部材とを備えており、
上記第２部材は、上記複数の球体と接して上記第１部材と組み合わされていることを特徴とする運動ガイド装置。
【請求項１２】
ボールねじであることを特徴とする請求項１１に記載の運動ガイド装置。
【請求項１３】
請求項１１または１２に記載の運動ガイド装置を備えていることを特徴とする産業用機械。